

CSR(企業の社会的責任)

インフィニオン テクノロジーズは、もっとも世界で進化した包括的なCSRコンセプトのひとつを描いています。私たちは国連グローバル・コンパクト・イニシアチブの参加者として、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスに選定され、サステナビリティ・イヤーブック2012に掲載されています。私たちにとっての持続可能性とは、社会・環境・経済という3つの目標のバランスをとり、成功を収めることを意味しています。

私たちの提供する製品および事業運営は、生態学的効率を高めることで環境保護を支援します。この指標に向けて非常に早い段階から環境・安全・健康に関するシステムを構築。ISO14001およびOHSAS18001の認証を取得しています。

安全と健康

- 要求事項が厳格化する一方で、私たちの事故発生率は、DGUV(ドイツ法定損害保険)がエネルギー、繊維、電子、メディア分野について発表している数値と比較し、業界基準を維持しています。

製品開発

- エネルギー効率の良いデバイス、アプライアンス、アプリケーションの開発を可能にします。
- エコロジカル フットプリントを最適化するライフサイクル分析アプローチを適用しています。
- 環境に関するもっとも厳しい要件への適合をめざしています。

生産工程

- 資源効率に関する基準値を設定しています。
- より持続性の高い生産手法への切り替えを推進しています。
- エネルギー効率において目覚ましい改善を実現。これまでに人口200万人以上の街が1年間で消費する電力量に相当する節約を達成しています。
- 業界が自主的に合意する3年前から京都議定書の温室効果ガス削減目標を達成しています。

Infineon
at a glance

数々の画期的な半導体ソリューションで、 世界が抱えるさまざまな難題を解決します。

人口の爆発的な増加が大都市圏を新たに拡大し
消費エネルギーの需要が世界中で急増しています。

また環境保護の観点からも

新たなソリューションへの期待は高まる一方です。

人々の今後の暮らしのクオリティは

既存アプリケーションのエネルギー効率を高め、

モビリティというコンセプトを柔軟にとらえ、

安全なデジタル・コミュニケーションを実現する

画期的な技術や製品にかかっています。

ドイツの半導体メーカー インフィニオン テクノロジーズの

半導体技術は、すでに未来の成長市場に礎を築いています。



モビリティ (Mobility)

速く、安全、快適に。そしてクリーンに。

都市化が進み、環境保護が急務の現在、

自動車のエネルギー効率の向上に加え、移動の際には
持続可能で低コストなコンセプトが求められます。

鉄道、Eバイク、EV(電気自動車)まで、

私たちの半導体技術はエネルギーの効率的な活用で
未来のモビリティ・ソリューションを実現します。



エネルギー効率 (Energy Efficiency)

電力が主要なエネルギー源である事実は、

この先も変わらないでしょう。しかし電力需要の急増に伴い、
より効率的で賢明な使い方が重要になってきます。

私たちの半導体技術により、エネルギーの生成から消費地点への
伝送までの経路全体の効率向上が可能です。

たとえば風力エネルギーをグリッドに供給する産業用ドライブにも
インフィニオンのチップセットが使用され、
エネルギー効率の最大化に貢献しています。



セキュリティ (Security)

日常生活に広く浸透するデジタル・サービスには
多くのリスクが潜んでいます。

とりわけインターネット上での機密情報や
仮想通貨、デジタル文書(電子パスポート等)の
扱いには細心の注意が必要です。

私たちの半導体技術は高速データ伝送に加え、
画期的な暗号化処理で堅牢なデータ保護を実現します。

半導体メーカーの領域を超えたサポートで、お客さまの世界をひろげます。

欧州、北・中南米、アジア・太平洋地域で、インフィニオン テクノロジーズは世界中に確固としたビジネス基盤を築き、数多くの成功を重ねてきました。それぞれの国・地域では商習慣、ものづくりのプロセス、サポート対応などが日本とは大きく異なることもあり、これらにきちんと順応できる柔軟性が成功の鍵を握ります。世界各地で築き上げた豊富なノウハウを活かし、日本のお客さまの海外展開を強力にバックアップできることが、私たちインフィニオン テクノロジーズ ジャパンの第一の強みです。また、ここ数年、半導体メーカーの役割が広がり、半導体の製造のみならず、お客さまの製品やビジネス展開を

理解し、ものづくり全般をお手伝いすることが新たな役割として定着しつつあります。こうした要望にも的確に対応してきた数多くの実績が第二の強みです。日本のものづくりは、世界に誇れる高い技術力や品質を持っています。これらを海外へ広げ、ヒットにつなぐヒントを私たちは知っています。私たちと深く、密に関わることで強みを最大限に活用し、お客さまに成功していただくこと。これが私たちの最大のよこびです。

インフィニオン テクノロジーズ ジャパン株式会社
代表取締役社長 森 康明





エネルギーの効率的な利用で さらなるパワーを確保。

電力をはじめとしたエネルギーは
住まいを快適な温度に保ち、自動車を動かし、
街の夜を明るく、やさしく照らします。

しかし限りある石油資源では
世界のエネルギー需要の高まりに
対応することは困難です。

さらに気候変動を受けて、これからは
CO₂排出量のより少ない安心、安全な
エネルギー源を見つける必要があります。

産業用駆動装置に使われるモータの効率を高めます。

エネルギー効率を向上すれば、より多くのエネルギーが確保できます。インフィニオンの画期的な半導体技術は、工場、サーバ・ファーム、電化製品、エアコン(HVAC)施設、照明システムなど、さまざまな分野で求められるエネルギー効率の向上に貢献。たとえば産業用駆動装置やポンプの速度を、実際の需要に合わせて調整することでモータの効率を大きく高めます。また大型駆動システムの減速時に放出されるエネルギーをブレーキ部分で確保し、グリッドに送り返して効率性を高めることも可能です。

スマートチップがエネルギー経路全体をサポートします。

インフィニオンの半導体技術は、エネルギーの生成から消費地点への伝送まで、エネルギー経路全体であらゆる工程を最適化します。これによって生まれる価値は、単なる効率化にとどまりません。たとえば風力や太陽光エネルギーをグリッドに送り込むためにも半導体は欠かせないもののです。そして高電圧の直流送電システムでロスを最小限に抑えつつ、長距離の電力供給を行います。私たちの提供する画期的なチップ・ソリューションは、需要と供給を最適にリンクさせた未来のスマートグリッドの構築に貢献します。



新たな移動手段で 未来の輸送システムの 柔軟性を向上。

急激なCO₂排出量の上昇が温暖化を加速し、
地球上のたくさんの生命を脅かしています。

CO₂排出量を劇的に抑える

クリーンなエネルギーの需要は

CO₂が増加の一途をたどる

大都市になるほど高くなります。

このクリーンで持続可能なエネルギーこそが

新たな個人の移動手段として選ばれる

重要な要素のひとつといえるでしょう。

先進の半導体技術で自動車の電化を成功に導きます。

インフィニオンのパワー半導体、センサ、マイクロコントローラは、燃費とCO₂排出量の削減、安全性の向上、低コスト化に貢献。すでに自動車市場に革新をもたらしています。今後、路上を制すると考えられる電力。近い将来には再生可能なエネルギーを搭載した電気自動車が普及するでしょう。こうした電化を成功へと導くカギが半導体です。たとえば半導体の使用により、ブレーキ時に回収されたエネルギーをバッテリーに送り返し、走行距離をさらに伸ばすこともできます。

大都市向けの持続可能なコンセプトを提案します。

地域および都市間の鉄道網は、すでに大半が電化されています。インフィニオンのチップ・ソリューションを使用すれば、都市間の高速鉄道や地下鉄を駆動するモータへの電力供給の信頼性・効率性の大幅な向上が可能です。また非接触型の安全な発券システムにも採用されています。私たちの画期的な半導体技術は幅広い領域で環境に配慮したエネルギー経路を実現。未来の大都市ネットワークの移動手段は、こうした技術を用いて開発されています。



堅牢なセキュリティで コミュニケーションの 安全性を徹底。

コミュニケーションのデジタル化が進み
Webではクリックで買い物や送金が可能。
またカギを使わずに自動車や
自宅のドアを簡単に開くことができます。
こうしたネットワーク化された
コミュニケーションに欠かせないのが
高いセキュリティ。個人情報を保護する
より堅牢なソリューションが必要になります。

強固なセキュリティ・ソリューションで 貴重な個人情報を守ります。

デジタル環境においてセキュリティ対策が不十分だと、個人情報の盗難や不正使用、データ操作、商品の偽造といった危険にさらされる可能性があります。インフィニオンのセキュリティ・ソリューションは、機密情報や仮想通貨、デジタル文書（電子パスポート等）を確実に保護。私たちのマイクロチップは、暗号化処理により堅牢なデータ保護を実現します。今後ますます普及するデジタル・コミュニケーション、高まるプライバシー問題といった時代のリクエストに、インフィニオンはいち早くお応えします。

マイクロチップでセキュアなデータ転送を実現します。

インフィニオンの半導体技術は、低品質の偽造バッテリーによるリスクからノートPCやデジタルカメラを保護。電子指紋により正規の商品を特定し、偽造品の使用を防止します。また自動車内にある各種電子システム間のデータ通信はもちろん、道路の通行料や駐車料金の決済端末ともセキュアに通信できます。ハードウェアのセキュリティ技術と暗号化技術の組み合わせで、データの保護とセキュリティの基準を確立。最新のコミュニケーションメディアを心おきなく楽しむことができます。

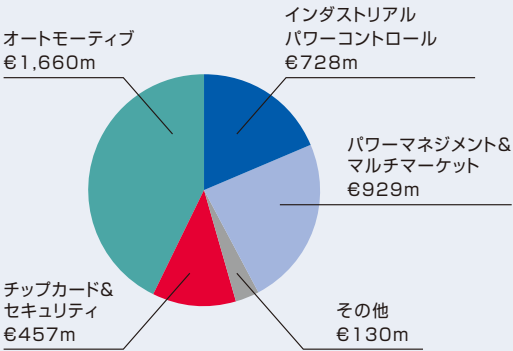
インフィニオン テクノロジーズの実績

現代社会が抱えるエネルギー効率、モビリティ、セキュリティといった課題に注目し、インフィニオン テクノロジーズは半導体およびシステムソリューションを提供。世界中のお客さまとともに、人、社会、地球の豊かな未来に向けた取り組みを続けています。

- ドイツ最大の半導体メーカー
- 従業員数(全世界):26,458名*
- 欧州:12,499名
- アジア・太平洋:13,341名
- 北・中南米:499名
- 日本:119名

事業部門別売上高

■ 2012年度売上高:€3,904million



注力マーケット

マーケットシェア (2011年)

マーケットポジション



オートモーティブ

10%

車載用半導体で**世界第2位**
(2012年4月・Strategy Analytics調べ)



工業用

12%

電力半導体(ディスクリート/モジュール)で
9年連続世界第1位
(2012年8月・IMS Research調べ<an IHS Company>)



セキュリティ

25%

チップカードICで**15年連続世界第1位**
(2012年8月・IMS Research調べ<an IHS Company>)

*2012年12月現在

インフィニオンでは主に4つの分野の
幅広いアプリケーションを網羅しています。



オートモーティブ

- ハイブリッドおよび電気自動車(電気モータ用ドライブ制御、バッテリー管理、充電器)
- パワートレイン(エンジン、トランスミッション制御、オルタネータ、スタートストップ・システム)
- 車体およびコンフォートエレクトロニクス(パワーウィンドウ、サスペンション、空調、照明、ステアリング、ワイパー、サンルーフ、ドアエレクトロニクス、中央車体制御ユニット)
- 安全性(ABS、エアバッグ、ESC、電子制御シャシー・サスペンション、電動ステアリング、タイヤ圧力監視システム、レーダー運転支援システム)



インダストリアル パワーコントロール

- 再生可能エネルギーの発電(大規模太陽光発電、陸上/洋上風力タービン)
- エネルギーの送電(洋上風力発電向け高圧直流線、FACTS)
- UPS(無停電電源装置)
- 産業用機器の電子ドライブ制御
- 商用車(ハイブリッドバス、農業用車両、建設用車両、鉱業用車両)
- トラクション(電気機関車、高速鉄道、地下鉄、路面電車)
- 白物家電(IHクッキングヒーター、IH炊飯器、エアコン、洗濯機)



パワーマネジメント&マルチマーケット

- 太陽光発電システム用インバータ
- LED照明を含む照明管理
- コンピュータ用電源(テレコム、サーバ、PC、ノートブック、タブレットPC)
- 民生電子機器用電源
- 通信用モバイル端末、ナビゲーションシステム
- 携帯電話基地局

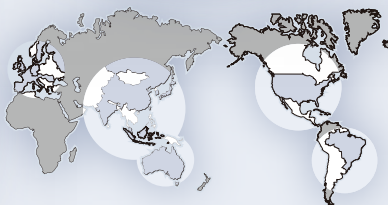


チップカード&セキュリティ

- モバイル通信端末 ● 決済システム
- NFC ● 電子パスポート
- IDカード、健康保険証、運転免許証
- 交通、発券業務、出入管理
- トラストィッド・コンピューティング(プラットフォーム・セキュリティ・アプリケーション/システムソリューション)
- 認証(有料TV、ゲーム機、付属品、スペアパーツ、産業用制御他)

販売拠点 (アルファベット順)

| Japan | Asia/Pacific | Europe | | | Americas |
|----------|------------------------|-------------------|----------------------|------------|-------------|
| ■ Nagoya | ■ Bangalore | ■ Bristol | ■ Milan | ■ Toulouse | ■ Kokomo |
| ■ Osaka | ■ Beijing | ■ Dublin | ■ Moscow | ■ Vienna | ■ Lebanon |
| ■ Tokyo | ■ Hong Kong | ■ Duisburg | ■ Munich, Neubiberg | ■ Warstein | ■ Livonia |
| | ■ Melbourne, Blackburn | ■ Erlangen | ■ Paris, Saint Denis | ■ Zurich | ■ Milpitas |
| | ■ Seoul | ■ Hannover | ■ Stockholm, Kista | | ■ Sao Paulo |
| | ■ Shanghai | ■ Helsinki, Espoo | ■ Stuttgart | | |
| | ■ Shenzhen | ■ Madrid | | | |
| | ■ Singapore | | | | |
| | ■ Taipei | | | | |



研究開発拠点 (アルファベット順)

| Asia/Pacific | Europe | |
|--------------|-------------|---------------------|
| ■ Bangalore | ■ Augsburg | ■ Linz |
| ■ Beijing | ■ Bristol | ■ Munich, Neubiberg |
| ■ Malacca | ■ Bucharest | ■ Padua |
| ■ Seoul | ■ Dresden | ■ Regensburg |
| ■ Shanghai | ■ Duisburg | ■ Villach |
| ■ Singapore | ■ Graz | ■ Warstein |

| Americas |
|---------------|
| ■ Milpitas |
| ■ Morgan Hill |
| ■ Torrance |

生産拠点 (アルファベット順)

| Asia/Pacific | Europe | Americas |
|--------------|--------------|---------------|
| ■ Batam | ■ Cegléd | ■ Morgan Hill |
| ■ Beijing | ■ Dresden | |
| ■ Kulim | ■ Regensburg | |
| ■ Malacca | ■ Villach | |
| ■ Singapore | ■ Warstein | |
| ■ Wuxi | | |

生産拠点



■ Morgan Hill



■ Dresden



■ Villach



■ Batam



■ Kulim



■ Singapore



■ Cegléd



■ Regensburg



■ Warstein



■ Beijing



■ Malacca



■ Wuxi

Corporate Profile

本社概要

- 社 名 Infineon Technologies AG
(和文表記: インフィニオン テクノロジーズ AG)
- 本社所在地 ノイビーベルク (ドイツ)
- 設 立 1999年4月1日
(Siemens AGの半導体部門が分離独立)
- 中核事業 オートモーティブ
パワーマネジメント&マルチマーケット
インダストリアル パワーコントロール
チップカード&セキュリティ
- 地域事業拠点 欧 州: ノイビーベルク
北・中南米: ミルピタス (米国)
アジア太平洋: シンガポール
日 本: 東 京
- 株式上場 ドイツ: フランクフルト株式市場
米 国: OTCQX (店頭取引市場)

日本法人概要

- 社 名 インフィニオン テクノロジーズ ジャパン株式会社
(英文表記: Infineon Technologies Japan K.K.)
- 本社所在地 東京都品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 21F
- 設 立 1980年2月1日
(富士エレクトロニックコンポーネンツ株式会社の
設立を起点とする)
- 事業目的 電子デバイスの販売および一切の関連業務
- 資本金 1億2,000万円
- 決算期 9月30日
- 取引金融機関 みずほ銀行 / 三井住友銀行 /
ロイヤルバンク・オブ・スコットランド /
シティバンク銀行